

講演会

「谷川俊太郎 —ひと、絵本、詩から学んだ大切なこと—

講師：生田美秋

2010年に絵本の企画展「谷川俊太郎絵本の仕事展」(世田谷文学館)、2019年に詩の企画展「谷川俊太郎の宇宙」(高志の国文学館)の開催に携わり、谷川俊太郎さんと何度も会い、展示プランについて打ち合わせを重ねてきた生田美秋氏をお招きします。二度の展覧会企画でのやり取りを通して、谷川さんから学んだこととは？生前の谷川さんを知る生田氏より、貴重なお話をうかがいます。

申込不要・聴講無料

2026

4/25 土

時間 | 14:00 — 15:30

場所 | 富山県美術館 3階ホール

定員 | 約 50 名

講演内容

1 <ひと>

“Tシャツとジーンズ姿”に象徴される、こどもも大人も、素人も専門家も、偉い人もそうでない人も区別なく、儀礼的な挨拶なしで本題に入る「ひと」について。

2 <絵本>

- ・コンセプト重視の絵本
- ・赤ちゃん向けオノマトペの絵本
- ・ユーモアとナンセンスの絵本
- ・メッセージ絵本
- ・意識の翻訳と、独自の谷川「絵本」の位置について。

3 <詩>

- ・宇宙の拡がりを表わす詩
- ・日常を言葉で把握する試みの詩
- ・生きる・愛する・幸せなどひとの基本についての詩
- ・平和と戦争、生と死などのメッセージを発する「詩」の世界について。

※内容等、都合により変更する場合があります。
※ヒアリンググループをご利用の場合は事前にお申し出ください。

講師：生田美秋 (高志の国文学館事業部長／絵本専門士養成講座講師)

午年生まれの乙女座。世田谷文学館学芸部長を経て2016年に高志の国文学館事業部長に就任。国立青少年教育振興機構主催の絵本専門士養成講座講師、敬愛短期大学、昭和学院短期大学(各非常勤講師)で認定絵本士養成講座担当と絵本の専門家養成に携わる。射水市大島絵本館理事、三鷹市スポーツと文化財団理事。元絵本学会理事。専門は絵本、文芸評論。主な著書には『別冊太陽 365日、まいにち絵本!』(平凡社)、『ベーシック絵本入門』(ミネルヴァ書房)、『絵を読み解く 絵本入門』(ミネルヴァ書房)ほか。新聞社時代に『東京・美術館への散歩道 全3巻』(東京新聞出版局)を取材・編集。